

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.7.15

1・2年生用 夏季号

進路を考えよう まだ先のことではない！



1, 2年生の皆さんにとって、「進路のことを考える」と言われてもびんと来ない人が多いかもしれません。卒業学年になったら考えればよいと思っている人が多いでしょう。今の世の中は色々な職種も増え、実際に働いている大人の姿を間近で見ることもしなくなり、皆さんにとっては自分の将来の進路を具体的にイメージすることが難しくなっています。また一昨年のリーマンショック以来就職も極めて厳しくなっております。そうした意味でも、早めに自分の将来の進路について考え、色々な資料を調べたり、日頃から基礎学力を付けるよう心がける等具体的な準備をしていかなくてはなりません。この夏休みは自分の進路について考えるよい機会です。

進学者へ 《オープンキャンパス等に積極的に参加を》

すでに様々な大学や専門学校でオープンキャンパスが始まっています。これは三年生だけを対象としたものではありません。一、二年生も参加できます。皆さんにとってはどこの学校を受けるかということよりもどのような分野に進学したらよいかを知るためにも、具体的に現場を見て感じてくるのが何よりも大切です。自分の少ない経験の中でイメージをふくらませようとしても限界があります。実際に見て来ると今まで気がつかなかった色々なことが理解できるはずです。また一つ of 分野だけではなく、複数の分野を見ることも大切です。

学校によっては無料バスを出しているところもあります。そうしたデータは進路室にありますし、インターネットで調べることも可能です。是非今から計画を立ててください。

就職者へ 《基礎学力を付けておくこと》



昨年の就職はかつて無い厳しいものがありました。今年は昨年よりは幾分求人数は増えていますが、まだ就職希望者全員分の求人数が確保できず依然厳しい就職戦線です。今年三月の一般の求人倍率は 0.51 倍です。残念ながら来年以降も急激に回復する見込みはありません。つまり皆さんの時も厳しい就職戦線となるでしょう。

世界的に競争の激しい中で企業はより優秀な人材を求めています。少ない求人の中で他校の生徒との競争に勝てなくては最後の喜びをつかむことは出来ません。基礎学力を持ち特徴のある生徒でないとその競争に敗れることとなります。「いざとなれば何とかなる」などと言う甘い判断は大間違い。今の状況はそんな甘い期待が通用しません。おそらく今年も就職希望者の半数近くは第一次試験で不合格となる可能性があります。落ちて次がすぐに見つからないのです。その現実と直面し初めてその辛さを痛感するのではなく、出来ればそうならないように今から基礎学力をしっかり付けるよう心がけて欲しいものです。またクラブや生徒会や資格試験等何かに打ち込んだり、人とのコミュニケーション能力のある生徒はよいが、特徴のない中途半端な生徒はダメです。自分の生活を見直し、充実した高校生活を心がけて欲しいものです。